

「道南連携地域政策展開方針」各プロジェクト 推 進 状 況

地域のめざす姿
道南地域が誇る個性豊かな歴史や文化、多彩で特色ある食や自然の魅力を高め、 環境と経済が調和しながら成長し続ける、本州と北海道の懸け橋

地域重点政策ユニットのプロジェクト名称	推進エリア
1 北海道新幹線の札幌開業を見据えた交流・定住促進プロジェクト	道南連携地域
2 道南の優位性を活かしたゼロカーボンプロジェクト	道南連携地域
3 地域に根ざした農林水産業の持続的発展プロジェクト	道南連携地域
4 暮らしの安全・安心を支えるまちづくりプロジェクト	道南連携地域
5 地域の強みを活かした産業活性化・雇用創出プロジェクト	道南連携地域
6 縄文遺跡群などを活用した魅力発信と誘客促進プロジェクト	道南連携地域 石狩地域 胆振地域

北海道新幹線の札幌開業を見据えた交流・定住促進プロジェクト

【推進エリア】道南連携地域（渡島地域、檜山地域）

目的

北海道新幹線（新函館北斗・札幌間）開業を見据え、歴史・文化・食など地域の資源を活かし、個性豊かな観光地づくりと受入体制の充実、観光誘客、ワーケーション等による長期滞在や移住定住の促進など、交流人口や関係人口等の創出・拡大を推進する。

これまでの主な取組・成果

■北海道新幹線の札幌開業を見据えた交流の拡大

- ・北海道新幹線開業10周年式典・記念イベントの開催 [北海道新幹線建設促進道南地方期成会]

開催日：令和8年3月21日、22日

場所：北斗市（新函館北斗駅）

概要：今後の北海道新幹線の建設・利用促進を図るため、JR北海道と連携し、北海道新幹線開業10周年記念セレモニーや記念イベントを開催。



提供：JR北海道

■個性豊かな観光地づくりと受入体制の充実

- ・真昆布ガストロノミーツアーの開催 [振興局（渡島）]

開催日：令和7年8月19日

場所：函館市、鹿部町

概要：持続可能な観光地づくりに向けて、観光関連事業者を対象とした「食と観光」の高付加価値な旅行商品の造成を図るモニターツアーを開催。



■道南の多様な魅力を活かした移住・定住及びワーケーション等の推進

- ・檜山地域首都圏PRイベントの開催 [振興局（檜山）、町]

開催日：令和7年11月7日

場所：東京都（EZOHUB TOKYO）

概要：檜山地域の認知度向上、地域への来訪を促すため、首都圏の檜山管内に興味のある方を対象に、食・観光をはじめとした様々な魅力を発信し、交流を行うイベントを実施。



- ・「道南地域おこし協力隊研修・交流会」の開催 [振興局（渡島、檜山）]

開催日：令和7年9月5日

場所：江差町（檜山振興局）

概要：地域おこし協力隊、自治体職員、地域づくりに携わる方等を対象とした、マネーセミナー及び交流会を実施。



主な評価指標（KPI）

渡島地域への観光入込客数

基準値(基準年)

1,160万人（R5）

実績値(実績年)

1,282万人（R7）

目標値(目標年)

1,408万人（R11）

進捗率

91.1%

檜山地域への観光入込客数

135万人（R5）

167万人（R7）

155万人（R11）

107.7%

R8年度の主な取組

- Jリーグキャンプや他競技等のキャンプ・イベントの誘致活動の実施 [振興局（渡島）]

- 新たな観光ルート創出のためのバス・レンタカー等を活用した送客実証実験の実施 [振興局（渡島）]

- 檜山地域の認知度向上、来訪を促すため、檜山地域の魅力を発信し交流を行うイベントを東京都内で開催 [振興局（檜山）、町]

道南の優位性を活かしたゼロカーボンプロジェクト

【推進エリア】道南連携地域（渡島地域、檜山地域）

目的

地域特性を最大限に発揮し、洋上風力などの再生可能エネルギーの活用や森林資源の循環利用、さらには建築物の省エネ化等に向け、関係者が一体となって取り組み、世界、日本、そして本道の脱炭素化、GXの実現に貢献する。

これまでの主な取組・成果

■温室効果ガス排出量削減に向けた取組の促進

- ・高校生を対象とした先進地視察や勉強会の実施 [振興局（渡島）]

開催日：令和7年9月24日
場所：森町（森発電所 など）
概要：ゼロカーボンを探究テーマに選定した高校1年生を対象に、再生可能エネルギーの利活用に取り組む施設を視察するフィールドワークを実施。



- ・地域住民向け「まちづくり×脱炭素ワークショップ」の開催 [振興局（檜山）]

開催日：令和8年2月20日
場所：今金町（総合体育館あいきゅーぶ）
概要：地域が一丸となりゼロカーボンの取組を推進できるよう地域住民向けにカードゲーム「脱炭素まちづくりカレッジ」を使用したワークショップを開催。



■地域資源を活かした再生可能エネルギーの利活用推進

- ・洋上風力関連事業ネットワーキングセミナーの開催 [振興局（渡島、檜山）]

開催日：令和7年9月4日、10月14日
令和8年3月11日
場所：江差町、上ノ国町
概要：松前沖・檜山沖における洋上風力発電事業の展開を見据え、地元企業等を対象に、今後の展開への理解を深める講演やコンテナハウスの見学会等を実施。



■吸収源対策としての森林や藻場の適正管理と自然環境の保全

- ・「森林吸収源対策推進地域協議会」の開催 [振興局（檜山）]

開催日：令和8年3月9日
場所：江差町（檜山振興局）
概要：国、町、森林組合、林業事業体など、管内の関係者が集まる協議会を開催。森林吸収源対策に係る取組の現状・課題のほか新たに2040年度における森林吸収量の目標を設定する「北海道森林吸収源対策推進計画（改定案）」、手入が行われていない森林の整備に向けた取組を共有。



主な評価指標（KPI）

主な評価指標（KPI）	基準値（基準年）	実績値（実績年）	目標値（目標年）	進捗率
地方公共団体実行計画策定市町村数（渡島地域）	5市町（R5）	9市町（R7）	11市町（R11）	81.8%
地方公共団体実行計画策定市町村数（檜山地域）	6町（R5）	6町（R7）	7町（R11）	85.7%

R8年度の主な取組

- 高校生や大学生を対象とした環境教育の推進による人材の育成 [振興局（渡島）]
- まちづくり関係者を対象とした脱炭素の行動実践に係る学習会の開催 [振興局（檜山）]
- 洋上風力発電事業への地元企業の参入やGX関連産業の誘致に向けた取組の実施 [国（地方支分部局）、振興局（渡島・檜山）]

地域に根ざした農林水産業の持続的发展プロジェクト

【推進エリア】道南連携地域（渡島地域、檜山地域）

目的

製品のブランド化や適正な資源管理などによる付加価値の向上や販路拡大などの取組を進めるとともに、移住・定住施策と連動しながら新規就業者の確保を図るなど、担い手不足への対応を推進する。

これまでの主な取組・成果

■農林水産業の付加価値向上と販路拡大

- ・地域材の利用促進イベントの実施 [振興局（檜山）、市町]

開催日：令和7年5月3日、7月20日、12月6日
場所：厚沢部町、上ノ国町、せたな町
概要：道南スギ等地域材の利用促進を目的に、檜山管内でパネルの展示やパンフレットの配布、自由木工等の体験コーナーを出展し、見て・ふれて・木のぬくもりを感じてもらうイベントを実施。



- ・ミズナラの活用促進に向けた研修会の開催 [振興局（渡島）]

開催日：令和8年2月25日
場所：函館市（渡島総合振興局）
概要：ナラ枯れ被害の未然防止と資源の有効活用の観点から、ミズナラの利用促進を図るため、管内市町職員や林業関係者を対象に、ミズナラの新たな活用事例を紹介する研修会を開催。



■農林水産業への新規就業につながる担い手対策の推進

- ・新規漁業者の確保に向けた漁業ガイダンスの実施 [振興局（渡島）]

開催日：令和7年9月2日
場所：北斗市
概要：地元の漁業に興味を持ってもらい、卒業後の進路の一つとして検討してもらうため、漁業の現状や業務内容を紹介する「漁業ガイダンス」を実施。



- ・生産者等による高校生に対する出前授業の実施 [振興局（檜山）]

開催日：令和7年10月14日、11月5日、12月10日
場所：せたな町（檜山北高校）
概要：檜山北高校の生徒に対し、檜山の基幹産業である農業の概要や魅力等に触れてもらうため、農業者等による出前授業、生産施設視察、女性農業者による調理実習等を実施。



主な評価指標（KPI）

	基準値(基準年)	実績値(実績年)	目標値(目標年)	進捗率
新規就業者数（渡島漁業）	14人（R5）	36人（R7）	21人（R11）	171.4%
新規就業者数（檜山農業）	8人（R4）	15人（R7）	9人（R11）	166.7%

R8年度の主な取組

- ナラ枯れ被害の拡大防止のため、森林所有者への計画的な伐採の働きかけやナラ材のPR活動を実施 [振興局（渡島、檜山）]

- 漁業者等と連携し、新規就業意欲の高い方を対象とした相談会の開催 [振興局（渡島）]

- 高校生等を対象とした農林水産業の魅力紹介や現場見学の実施 [振興局（渡島、檜山）]

暮らしの安全・安心を支えるまちづくりプロジェクト

【推進エリア】道南連携地域（渡島地域、檜山地域）

目的

地域住民をはじめ自治体や関係機関、事業者等の連携のもと、人口動態なども踏まえた地域全体の医療体制や交通体系の最適化に向けた取組を進めるとともに、ハード・ソフト両面から地域防災の充実強化を図る。

これまでの主な取組・成果

■公共交通の維持・確保

- ・バス運転手合同就職相談会の開催 [函館地区バス協会、道南地域公共交通活性化協議会]

開催日：令和7年6月22日、10月26日、
令和8年3月15日

場所：函館市（渡島総合振興局）

概要：地域住民や観光客にとって必要不可欠な移動手段を担う運転手の確保を目的とした個別相談会を開催。



■安心で質の高い医療・福祉サービスの強化

- ・「地域体験研修」の実施 [地域医療連携推進法人]

開催日：令和7年5月15日、6月26日、9月4日、
10月30日など 全7回開催

場所：江差町、奥尻町など 南檜山5町

概要：道立江差病院で実習を行う医学生等に、地域の文化や生活環境を体験してもらうことで、地域医療や南檜山への関心を高め、理解を深めることを目的として、檜山管内町において「地域体験研修」を実施。



■防災体制の向上と安全・安心なまちづくりの推進

- ・「やくも防災フェスタ2025」の開催 [国、振興局（渡島）、八雲町防災フェスタ実行委員会]

開催日：令和7年10月4日

場所：八雲町（噴火湾パノラマパーク）

概要：地域住民の防災への啓発を図るほか、防災関係機関の参画により、地域全体の防災力向上を目的とするイベントに出展。



- ・災害時外国人対応力向上研修の実施 [振興局（檜山）、町]

開催日：令和7年11月1日

場所：せたな町（役場）

概要：外国人との共生の取組として、災害時における日本人と在住外国人双方が取るべき行動や対応について理解を深めるため、より実践的な避難所体験ワークショップを実施。



主な評価指標（KPI）

広域交通（路線バス）の年間輸送人員

基準値（基準年）

1,848千人（R4）

実績値（実績年）

1,996千人（R7）

目標値（目標年）

1,981千人（R11）

進捗率

100.7%

R8年度の主な取組

- 小中学生を対象としたバス乗車料金の50%分のポイント還元による公共交通機関の利用促進 [道南地域公共交通活性化協議会]

- 渡島・八雲・檜山の地域医療構想関係者による地域における情報共有 [振興局（渡島・檜山）]

- 防災活動のリーダーとなる人材の育成や地域における防災訓練の実施支援 [振興局（渡島・檜山）]

地域の強みを活かした産業活性化・雇用創出プロジェクト

【推進エリア】道南連携地域（渡島地域、檜山地域）

目的

「食」や「観光」、「再生可能エネルギー」など、地域を支える産業の振興や企業誘致を推進するとともに、地元中小企業の事業活動の活性化を図り、若年層を中心とした地元への定着及び雇用の創出を図る。

これまでの主な取組・成果

■地域の強みを活かした地域産業の振興や企業誘致の推進

・「おしま食ゼミナール 道南食財勉強会」の開催 [振興局（渡島）]

開催日：令和7年11月20日
場所：函館市（港の庵）
概要：道南地域の食のブランド化に向け、食関連事業者を対象とした、新たな食材の魅力発掘や新商品開発をするセミナーを開催。



・檜山特産品フェア「ひやマルシェ」の実施 [振興局（檜山）、町]

開催日：令和7年5月14日～5月20日
場所：札幌市（どさんこプラザ）
概要：檜山産品のPR及び販路拡大を図るため、北海道どさんこプラザと連携して檜山特産品フェア「ひやマルシェ」を開催。あわせて檜山管内各町と連携し観光PRを実施。



・地元水産物の消費拡大に向けた加工品の研究 [振興局（渡島）]

開催日：令和7年12月17日
場所：北斗市
概要：管内水産物の消費拡大並びに付加価値向上を目的とし、地元の高校生が、低利用魚であるニシンを活用した加工品の研究、成果発表会を実施。



■産業振興と雇用対策との一体的展開による雇用の創出及び若年層の定着

・人材確保に向けた「外国人材セミナー」の実施 [振興局（檜山）]

開催日：令和8年1月27日
場所：江差町（ホテルニューえさし）
概要：人手不足への対応策として、檜山管内の事業者及び自治体職員を対象に外国人材受入に関する制度理解の促進及び受入体制づくりの支援を目的として、セミナーを開催。



主な評価指標（KPI）

食の個別相談会等での商談成約件数

基準値(基準年)

532件(R2-R5)

実績値(実績年)

276件(R6-R7)

目標値(目標年)

800件(R6-R11)

進捗率

34.5%

R8年度の主な取組

■道南食材の販路拡大に向けた産地見学会や食関連事業者の新商品開発の支援 [振興局（渡島、檜山）]

■地元の高校等との連携による未利用魚種の利用可能性の検討 [振興局（渡島）]

■地元就職・定着に向けた高校での合同企業説明会や大学等の就職支援担当者向け意見交換の実施 [振興局（渡島・檜山）、市町]

縄文遺跡群などを活用した魅力発信と誘客促進プロジェクト

【推進エリア】道南連携地域（渡島地域、檜山地域）【連携地域を越えて取組を推進するエリア】石狩地域、胆振地域

目的

先人から受け継いだ貴重な財産への理解を深め、郷土の誇りと愛着を再認識することで、次世代へ継承していくとともに、この魅力ある地域資源を活用し、観光など地域産業の活性化に繋げていく。

これまでの主な取組・成果

■縄文文化の魅力発信と次世代への継承の推進

- ・「おしまの縄文に触れる日2025」の実施〔関係市町教育委員会、振興局（渡島）〕

開催日：令和7年7月27日

概要：「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録から4周年を迎える7月27日を「おしまの縄文に触れる日」として、函館市縄文文化交流センターの入館料無料、鷲ノ木遺跡見学会、1日乗車券「縄文カンパス」の発売等を実施。



- ・いしかり縄文リレーパネル展の開催〔振興局〕

開催日：令和7年7月29日～11月3日

概要：「北海道・北東北の縄文遺跡群」について、その魅力を広く発信することを目的に、石狩管内の図書館や郷土資料館等で、パネル展を開催。



■縄文遺跡群をはじめとする地域資源を活用した誘客促進

- ・「JOMON EXPO 2025」の開催〔振興局（渡島）、市、関係団体〕

開催日：令和7年9月21日

場所：函館市（函館蔦屋書店）

概要：縄文について、ワークショップや講演等、「見る」「聞く」「体験する」ことを通じ地域住民等に「おしまの縄文」の魅力を発信するイベントを開催。



■縄文文化の魅力発信と次世代への継承の推進

- ・縄文コレクションカードの配布〔振興局〕

開催日：令和7年7月25日～令和8年1月

概要：縄文文化の価値や魅力に、触れていただくことを目的に、胆振管内の遺跡等を紹介するオリジナルカード「いぶりの縄文コレクションカード」を作成し、胆振管内の縄文関連施設で配布。



主な評価指標（KPI）

縄文文化の魅力情報発信に向けた取組を行った市町数（渡島地域）

基準値(基準年)

2市町(R5)

実績値(実績年)

5市町(R7)

目標値(目標年)

11市町(R11)

進捗率

45.5%

R8年度の主な取組

- 世界遺産登録5周年記念イベントや青森県の関連施設等と連携したPR活動の実施〔振興局（渡島）、市町〕
- 関係団体主催イベントへの参加を通じた縄文遺跡群のPR活動の実施〔振興局（石狩）〕
- 縄文遺跡群を含んだいぶり五大遺産を周遊するピンバッジラリーの実施〔振興局（胆振）〕

評価指標（KPI）一覧

プロジェクト名	評価指標（KPI）	基準値 (基準年)	R7	R8	R9	R10	R11	目標値 (目標年)	進捗率
北海道新幹線の札幌開業を見据えた交流・定住促進プロジェクト	観光入込客数（渡島地域）	1,160万人 (R5)	1,271万人 (R6)	1,282万人 (R7)				1,408万人 (R11)	91.1%
	観光入込客数（檜山地域）	135万人 (R5)	149万人 (R6)	167万人 (R7)				155万人 (R11)	107.7%
	移住相談件数（渡島地域）	731件 (R5)	753件 (R6)					1,120件 (R11)	67.2%
	移住相談件数（檜山地域）	175件 (R5)	218件 (R6)	114件 (R7)				217件 (R11)	52.5%
	北海道型ワーケーション参加市町村数（檜山地域）	5町 (R6)	7町 (R7)	7町 (R8)				7町 (R11)	100.0%
	地域おこし協力隊員数（渡島地域）	33人 (R6)	33人 (R7)	29人 (R8)				55人 (R11)	52.7%
	地域おこし協力隊員数（檜山地域）	13人 (R6)	26人 (R7)	25人 (R8)				18人 (R11)	138.9%
道南の優位性を活かしたゼロカーボンプロジェクト	地方公共団体実行計画策定市町村数（渡島地域）	5市町 (R5)	8市町 (R6)	9市町 (R7)				11市町 (R11)	81.8%
	地方公共団体実行計画策定市町村数（檜山地域）	6町 (R5)	6町 (R6)	6町 (R7)				7町 (R11)	85.7%
	新エネルギー導入量（設備容量）（渡島地域）	27.7万Kw (R4)	43.2万kw (R5)					48.0万Kw (R11)	90.0%

評価指標（KPI）一覧

プロジェクト名	評価指標（KPI）	基準値 (基準年)	R7	R8	R9	R10	R11	目標値 (目標年)	進捗率
道南の優位性を活かしたゼロカーボンプロジェクト	新エネルギー導入量（設備容量） （檜山地域）	19.1万Kw (R4)	19.5万Kw (R5)					26.5万Kw (R11)	73.6%
	植林面積（渡島地域）	348ha (R4)	372ha (R5)	327ha (R6)				399ha (R11)	82.0%
	植林面積（檜山地域）	135ha (R4)	171ha (R5)	155ha (R6)				158ha (R11)	98.1%
地域に根ざした農林水産業の持続的発展プロジェクト	農業産出額（渡島地域）	434億円 (R4)	465億円 (R5)					454億円 (R11)	102.4%
	農業産出額（檜山地域）	134億円 (R4)	141億円 (R5)					141億円 (R11)	100.0%
	道南スギの年間製材出荷量（渡島地域）	13,440m³ (R5)	11,745m³ (R6)					24,200m³ (R11)	48.5%
	道南スギの年間製材出荷量（檜山地域）	6,959m³ (R5)	6,356m³ (R6)	6,088m³ (R7)				9,000m³ (R11)	67.6%
	新規就業者数（渡島農業）	8人 (R4)	5人 (R6)					11人 (R11)	45.5%
	新規就業者数（渡島林業）	7人 (R3)	7人 (R5)					8人 (R11)	87.5%
	新規就業者数（渡島漁業）	14人 (R5)	26人 (R6)	36人 (R7)				21人 (R11)	171.4%

評価指標（KPI）一覧

プロジェクト名	評価指標（KPI）	基準値 (基準年)	R7	R8	R9	R10	R11	目標値 (目標年)	進捗率
地域に根ざした農林水産業の持続的発展プロジェクト	新規就業者数（檜山農業）	8人 (R4)	7人 (R6)	15人 (R7)				9人 (R11)	166.7%
	新規就業者数（檜山林業）	9人 (R1-R5平均)	集計中					10人 (R7-R11平均)	—
	新規就業者数（檜山漁業）	3人 (R5)	2人 (R6)	2人 (R7)				4人 (R11)	50.0%
暮らしの安全・安心を支えるまちづくりプロジェクト	広域交通（路線バス）の年間輸送人員	1,848千人 (R4)	1,996千人 (R7)					1,981千人 (R11)	100.8%
	航路輸送（江差－奥尻間）の旅客数（檜山地域）	45,866人 (R5)	46,122人 (R6)					52,223人 (R11)	88.3%
	航空輸送（函館－奥尻間）の利用者数（檜山地域）	8,695人 (R4)	11,055人 (R7)					11,367人 (R11)	97.3%
	医師少数区域数	2圏域 (R6)	集計中					0圏域 (R11)	—
	自主防災組織の活動カバー率（渡島地域）	59.8% (R5)	59.9% (R7) (全国均: 85.9%)					全国平均以上 (R11)	69.7%
	自主防災組織の活動カバー率（檜山地域）	62.5% (R5)	59.1% (R7) (全国平均: 85.9%)					全国平均以上 (R11)	68.8%
地域の強みを活かした産業活性化・雇用創出プロジェクト	食の個別相談会等での商談成約件数	532件 (R2-R5)	154件 (R6)	276件 (R6-R7)				800件 (R6-R11)	34.5%

評価指標（KPI）一覧

プロジェクト名	評価指標（KPI）	基準値 (基準年)	R7	R8	R9	R10	R11	目標値 (目標年)	進捗率
縄文遺跡群などを活用した魅力発信と誘客促進プロジェクト	縄文文化の魅力情報発信に向けた取組を行った市町数（渡島地域）	2市町 (R5)	5市町 (R7)					11市町 (R11)	45.5%
	観光入込客数（渡島地域）【再掲】	1,160万人 (R5)	1,271万人 (R6)	1,282万人 (R7)				1,408万人 (R11)	91.1%
	観光入込客数（檜山地域）【再掲】	135万人 (R5)	149万人 (R6)	167万人 (R7)				155万人 (R11)	107.7%
	観光入込客数（胆振地域）	1,642万人 (R5)	1,708万人 (R6)					1,833万人 (R11)	93.2%
	観光入込客数（石狩地域）	2,861万人 (R5)	3,031万人 (R6)					3,100万人 (R11)	97.8%

分析・対応方向

- 33の評価指標のうち、現時点で算出が可能な31の評価指標において、19項目で80%を超え、うち8項目で目標値を達成した一方、4項目において50%未満の進捗率となった。
 - ・ 観光入込客数について、渡島地域においては、クルーズ船の寄港や韓国からの国際定期便就航、北海道新幹線・道南いさりび鉄道開業10周年イベントの開催等により、過去最高の入込を記録。檜山地域についても、上ノ国町の道の駅の来客数の増加や乙部町の滝瀬海岸シラフラ展望公園のオープン等により、過去10年間で最大の入込となった。
 - ・ 新規就業者数について、全国的に労働力が不足している中、渡島管内においては、新規漁業者が昨年比10名増加。檜山管内においては、新規農業者が昨年比8名増加となった。
- 令和8年度においても引き続き、市町村や地方支分部局等、地域における多様な主体と連携しながら事業を実施することで各プロジェクトの取組を推進し、目標達成を目指す。

R 8 年度における渡島総合振興局の主な取組（地域政策推進事業・地域共創推進事業）

事業名	概 要	主な関連 プロジェクト ^(※)
おしま移住プロモーション事業	渡島地域の人材定着や移住者の増加に向けて、地域おこし協力隊員をはじめとする移住者への定住支援や市町の地域おこし協力隊員募集支援、移住PRの事業を行う。	①
推します「おしま」！スポーツキャンプ&イベント広域誘致推進事業	Jリーグが8月開幕の「秋春制」に移行することに伴い、複数クラブをキャンプ誘致するほか、地域のキャンプの機運醸成を図るとともに、Jリーグ以外のサッカークラブのほか、各種競技のキャンプやイベントを誘致し、「おしま」ファン拡大に繋げ、関係・交流人口や経済効果の波及による地域活性化を目指す。	①
みなみ北海道周遊ツーリズム促進事業	道南の強みである「食と観光」を活用した高付加価値な旅行商品の造成や地域コミュニティと観光客の両方に利益をもたらす取組の支援など、宿泊税事業と相互に補完しながら、稼ぐ観光への転換を図り、持続可能な観光地づくりを目指す。	①⑥
環境教育と環境分野における人材育成事業	2050年までの「ゼロカーボン北海道」を実現するためには、次世代を担う若者に対する環境教育や環境分野での人材育成が重要であるため、若者を対象とした環境学習事業を実施する。	②
みなみ北海道GX関連産業振興事業	道南地域の多様で豊富な再生可能エネルギーの導入促進と地産地消を図るため、檜山振興局・管内市町との連携による企業誘致の取組を積極的に推進し、再生可能エネルギーの生産・研究拠点や脱炭素関連企業の立地促進・産業集積により、南北海道におけるGX関連産業の振興を目指す。	②⑤
おしま「食と農業」魅力発信事業	農業・農村の持続的な発展のため、魅力ある農畜産物の情報を発信し、地産地消を推進するとともに、環境と調和のとれた農業に対する消費者理解を促進する。	③
渡島の多様性を活かした”持続可能な農業”推進事業	人口減少社会に対応した持続可能な農業を実現するためには、多様な人材との連携による農業労働力の確保や労働環境の改善などに努める必要があることから、次代の渡島地域を支える担い手の育成・確保を図る取組を進める。	③
ひろがれ！道南産森林認証材・ストップ！ナラ枯れプロジェクト	道南スギをはじめとする地域材の利用を拡大するため、地域の強みである森林認証材を需要者となる建築業者等にPRし、需要の拡大を図る。また、ナラ枯れ被害拡大を防ぐため、ミズナラ等の利用拡大が図られるよう、ナラ製品製作の担い手確保やナラ製品の需要拡大を図る。	③
おしまの漁業活性化プロジェクト	海洋環境の変化等の影響により、渡島管内の主要魚種の漁獲量が減少している一方で、単価の低い魚種の漁獲量が増加しており、漁業者の所得向上につながっていないことや、漁業就業者不足により漁業経営を安定的に継続していくことが困難になっている状況にあることから、渡島管内水産物の消費拡大や漁業就業者確保の事業を行うことにより、渡島管内の漁業の活性化を図る。	③
「南北海道食彩王国」ビルドアップ事業	道南の食の魅力さをさらに向上するため、地域内連携を促すとともに、道南の食関連事業者等に対する継続的な支援やそれらを実施する体制整備を実施し、「南北海道食彩王国」のさらなるブランド強化へ向けた取組を加速する。	⑤
「おしまの縄文」ファンメイキング推進事業	令和3年7月に世界文化遺産に登録された「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成資産（垣ノ島遺跡・大船遺跡）や関連資産（鷲ノ木遺跡）をはじめ、渡島管内の縄文関連施設への来訪者（リピーター層）増加に向けた官民連携強化による縄文文化の各種取組を推進し、縄文ファンの一層の拡大を目指す。	⑥

※渡島地域が推進するプロジェクト

①北海道新幹線の札幌開業を見据えた交流・定住促進プロジェクト	②道南の優位性を活かしたゼロカーボンプロジェクト
③地域に根ざした農林水産業の持続的発展プロジェクト	④暮らしの安全・安心を支えるまちづくりプロジェクト
⑤地域の強みを活かした産業活性化・雇用創出プロジェクト	⑥縄文遺跡群などを活用した魅力発信と誘客促進プロジェクト

R 8 年度における檜山振興局の主な取組（地域政策推進事業・地域共創推進事業）

事業名	概 要	主な関連 プロジェクト ^(※)
ひやまの魅力発信事業	人口減少・少子高齢化が進む檜山地域において、地域資源や森林資源の活用を通じて地域の魅力を高め、関係人口の拡大や移住定住の促進、ふるさと納税の増収につなげるとともに、販路拡大やプロモーション活動を推進することで、檜山ファンを育み、持続可能な地域づくりを進める。	①③⑤
ヒグマ対策促進事業	人身被害を未然に防ぐため、ドローンや通信機能付きカメラを活用した捕獲技術の高度化や、AI・ICTを活用した効率的・効果的な捕獲に向けた取組を進めるとともに、地域住民の意識を高め行動に結びつけることで地域対応力の強化を図る。	②④
地域の脱炭素・GX推進事業	促進区域に指定されている檜山沖洋上風力発電などのグリーン電力を活用するGX産業や関連産業の集積を柱に地域の振興を図るとともに、クリーンエネルギーへの転換などによる脱炭素により成長できる地域づくりに向けた機運醸成・意識改革を図り、「持続的に発展するひやま地域」の形成を目指す。	②⑤
地域産業担い手確保対策事業	人口減少や少子高齢化の進行などにより人手不足が深刻化する檜山地域において、幅広い分野で担い手を確保するため、地域内の人材の地元産業への就業促進や地域外に流出した人材のUターン促進、外国人材の活用・定着を図る。	③⑤

※檜山地域が推進するプロジェクト

①北海道新幹線の札幌開業を見据えた交流・定住促進プロジェクト	②道南の優位性を活かしたカーボンニュートラルへの挑戦プロジェクト
③地域に根ざした農林水産業の持続的発展プロジェクト	④暮らしの安全・安心を支えるまちづくりプロジェクト
⑤地域の強みを活かした産業活性化・雇用創出プロジェクト	⑥縄文遺跡群などを活用した魅力発信と誘客促進プロジェクト